

公民館の歌 (自由の朝)

作詞 山口晋一
作曲 下総皖一

♩ = 104

へ い の は る に あ た し く
こ ろ の の は な の の に や
は た ら く も の の や す ら か に

き う ど お こ す よ ろ こ び も こ う み か ん の
ま ゃ ゃ ど ど お ら き ゆ た か し さ も こ う み か ん の
ま ゃ ゃ ど ど お ら き ゆ た か し さ も こ う み か ん の

つ どい かか らら と きま けぼ あうをい こむ ころ なう ごつ やー か
つ どい かか らら と きま けぼ あうをい こむ ころ なう ごつ やー か
つ どい かか らら と きま けぼ あうをい こむ ころ なう ごつ やー か

にい に じぶ あ ゆうか のの あい さを たく たえ よろ う
にい に じぶ あ ゆうか のの あい さを たく たえ よろ う
にい に じぶ あ ゆうか のの あい さを たく たえ よろ う

公民館の歌 (自由の朝)

作詞 山口晋一
作曲 下総皖一

一、平和の春に あたらしく
郷土を興す よろこびも
公民館の つどいから
とけ合う心 なごやかに
自由の朝を たたえよう

二、心の花の におやかに
郷土にひらく ゆかしさも
公民館の つどいから
希望を胸に 美しい
文化の泉 くみとろう

三、働くものの 安らかに
郷土に生きる たのしさも
公民館の つどいから
まどいになごむ ひとときに
明日への力 そだてよう

「公民館の歌」について 『よくわかる公民館のしごと』(2008年 全国公民館連合会)より抜粋
昭和22年に公民館設置促進中央連盟が毎日新聞社とタイアップし、文部省(当時)後援により公民館活動の理念を示す「公民館の歌」の歌詞を全国公募しました。その結果、全国から1017件の応募がありました。厳正な審査の結果、見事特賞に選ばれたのは、千葉県館山市在住の山口晋一さんの作品でした。その作品に、東京音楽学校(現在の東京芸術大学)教授の下総皖一氏が作曲をしました。
受賞に際して山口さんは、「明るい文化がうちたてられてゆくためにはどうしても公民館のような機関が必要だと思えます。これが公民館の設立のための一つの推進力として役立てばなおさらの喜び」と語っています。

ふるさと市原の誇り

名誉市民の称号を贈呈

市民または市にゆかりが深く、市勢と社会の発展や文化の振興、公共の福祉の増進などに多大な貢献をした人に贈られる名誉市民の称号。平成 28 年 6 月に開かれた第 2 回市議会定例会で、その称号を深沢幸雄さんと小出善三郎さん、佐久間隆義さんに贈ることが決定しました。

問合せ 総務課 ☎ 9822

名誉市民称号贈呈式

今回、名誉市民となった 3 人の称号贈呈式を行います。
 日時 10 月 6 日(土)午後 2 時～3 時
 会場 市民会館



【略歴】

- 昭和 24 年 東京美術学校 (現東京藝術大学) 工芸科彫金部を卒業
- 昭和 25 年 市原第一高校 (現市原高校) に美術教師として勤務
- 昭和 61 年 多摩美術大学の教授に就任
- 昭和 62 年 賞状委員を拝蒙
- 平成 2 年 日本版画協会理事に就任
- 平成 6 年 アダウ・アステカを受賞
- 平成 7 年 鮎田厚地日小観摩を受賞

戦後の日本を代表する銅版画家 深沢幸雄さん

事績 学術や芸術の発明・改良・創作に関する事績の著しい人へ授けられる『紫綬褒章』やメキシコ合衆国が外国人に授けずる最高の勲章である『アダウ・アステカ』などを受章した経歴があり、国内主要美術館 20 館以上に所蔵会を贈じた有数の銅版画家の一人です。若手作家の育成にも力を注ぎ、文化の発展に多大な貢献をしました。

幼少期から磨かれた芸術的感性

生後間もなく朝鮮総督府の官吏であった父の任地である現在の大神宮国に渡り、18 歳まで過ごした深沢さんが絵と出会ったのは小学生のころ。美術教師の写生や日中戦争中に友人宅で見た美術作品展などに心を奪われます。「戦時中にもかかわらず母親自画像を描いていましたね。本当に絵が好きでした」
 自らの体験などを絵に刻む

深沢さんは、結婚を機に妻・咲子さんの地元である鶴舞に移り住み、間もなく、戦時中に負った膝の傷みから絵を描くことが困難になります。そのとき足が不自由でも制作ができ、以前から興味があった銅版画を始めました。「作成するときはいつも『向かを変えないと駄目なのは』という思いの繰り返しでした」と坂

に強い思いを込め制作を続けました。自らの忘れがたい体験などを描く銅版画が特徴の深沢さんの作品。「私の銅版画を見る機会があるときは私の苦悩や苦悶などを推測しながら鑑賞するとより面白くなるはずですよ」と教えてくれました。

「市原に来てよかった」

自身の作品を市に多数寄贈し、その作品は市原湖群美術館など市内各所で展示されています。鶴舞に住み 60 年以上経ち、千点以上の作品を制作した深沢さんは「これまで多くの方にお世話になりました。皆さん本当に優しく親切で、いい所に来たもたらから思っています。年を重ね、体が不自由になってきていますが、今後も市原のためにできることを考え、尽くしていきたいと思っております」と話しました。来年 1 月 5 日から市原湖群美術館で深沢さんの展覧会が開催されます。

ガラス絵や書なども手掛ける



凍れる歩 (ベーリング海峡)



アシェンダの地下にて

人が好き、市原が好き 佐久間隆義さん



事績 市原市長に就任し、3 期 12 年をわたり「安全に安心して暮らせるまちづくり」を実現するため、防犯対策の推進や子育て支援と責任ある教育の推進、福祉施策の推進などに先陣に立ち、市民福祉の向上と本市の発展に大きく貢献しました。また、上総高級公園の建設や大型商業店舗の誘致、上総いちばら国府祭りの開催により、魅力あるまち並み形成しながら「子育て一番のまち」を目指し、子育て支援員制度の創設や県内初の少人数学級の実現、小中一貫教育校の建設学園の開設など本市の将来を担う子どもたちの育成支援に取り組まれました。

【略歴】

- 昭和 40 年 市原高校を卒業
- 昭和 44 年 日本大学経済学部を卒業
- 昭和 50 年 市原市議会議員に初当選
- 昭和 59 年 千葉県市議会議員会長を兼ね
- 昭和 61 年 関東市議会議員会長を兼ね、全市市議会議員会長表彰
- 昭和 62 年 千葉県議会議員に初当選
- 平成 15 年 市原市長に就任
- 平成 21 年 全国自治体自治体協議会会長に就任
- 平成 26 年 全国市長会永年勤続功労表彰

生まれ育った市原のために
 「牛久中中学校のときに生徒会長として生徒のまとめ役をしていました。そのとき将来、自分が市原をまとめる市長になるとは夢にも思っていませんでした」と振り返る佐久間さん。大学生になり自分の将来を真剣に考えてみたとき真っ先に思いついたのは市原のことでした。「生まれ育った大好きな市原のために自分を生かしたい」その一心で市議会議員を志すことを決めます。その後、県議会議員のとき外から市原市を見たことが乾社となり、自ら市を運営したいという思いから市長へ。「就任後は、28 万人市民の責任を食うという思いが一層強くなりました」と 365 日、24 時間、市原のことを考えるようになり「自分がやらなければ誰がやる」という思いで市の舵取り役を務めます。重責を果たす中で市民に約束したことが実行でき、喜んでもらえたときの達成感は言葉で表せないくらいであったと市民の笑顔が原動力になっていたそうです。



「いつでも笑顔と元気を大切にしています」

市長として多忙な毎日を送る中、つ方の間の休日に家族で出掛けるとき、車中に誰が入るといふ出来事が起こります。妻の美英江さんがきれいだから髪を挿して連れて帰ろうとしたとき佐久間さんは「髪にも家族がいるのだから外に送らなければ」と言い、髪を挿させました。そのとき美英江さんは髪と佐久間さんを重ね合わせ「周囲を明るくする力がある夫を必要としている人はたくさんいる。夫は大好きな市原のために働き、家族との時間が取れないこともあった。だから髪と自分が重なり髪には家族の心とに輝いてほしいと相手の気持ちを考えてくださったのかな」と佐久間さんの市原を思う気持ちと愛しさを感へたそうです。

VONDS 市原を育めるチームへ
 在職中に子育て 4 か条を掲げると、子どもの未来のことを常に思う佐久間さんは現在、サッカー市民クラブの VONDS 市原 FC の会長を務めています。「VONDS は JFL を目指し、選手・スタッフが一丸となって奮闘しています。まずは市原といえは VONDS と思われるチームにする。そして子どもたちに夢を与えるクラブチームにしていきたい」と話しました。佐久間さんの視線の先にはいつまでも子どもたちの笑顔があります。

市原を全国区に 小出善三郎さん

事績 平成 3 年に市原市長に就任し「歩いて楽しく眺めて美しいまちづくり」を理念に 3 期 12 年をわたり市政を運営しました。パブル経済崩壊後の厳しい財政状況の中で、健全な財政を維持しながら、市原のランドマークとなるサンパザ市原や菊岡コミュニティ・福祉センター、アネッサ、ちはら台支所・コミュニティセンターなどを建設しました。

お客様第一の市政運営

鶴舞で生まれ育ち、海で翔ける釣りやすだてなどで遊んでいた幼少期。その場所は昭和 32 年以降の開発により、京葉臨海工業地帯となりました。高度経済成長期に海から工業地帯となり、市原だけでなく日本の経済は飛躍的に成長し、その成長とともに小出さんは経営者となり、市原の商工業に関わっていきます。

小出さんは、市原商工会議所の会長のとき、タワ元モビール市長とは今も交流関係の人たちの推薦と市の商工業をさらに発展させたいとの思いから市長選に出馬し、市長に就任します。就任後は当時珍しかった経営者出身の手腕をいかになく発揮。市長は経営者、市民はお客様と見え、市の職員とともに市を引っ張ります。「お客様に『ありがとう』と感謝される仕事を第一にしていきたいと思います」と市民サービスを向上させることを念頭に市政を運営しました。市原の名が全国へとどろく

市原を知ってもらうことで商業も工業も観光も発展すると考え、まず『市原の知名度を全国区に』という目標を掲げます。その目標はジェフユナイテッドのホームタウンになったことで急速に進展。「地域社会と一体となったクラブ作りという概念に共感し、またないチャンスだと思いジェフを受け入れることを決めました。市原を知らない人はいないくらいになり、本当に幸運な巡り合わせが重なりました」と当時の振り返ります。また、史跡園分館等の復元など文化・芸術にも力を注ぎ、自身も油絵を描きます。自作の油絵を姉妹都市であるアメリカ合衆国のモビール市に寄贈したことも。「モビール市を訪問したとき、私の油絵が展示されている美術館で歓迎会をしていただいたことは今も心に残っています」

深沢さんとのお名譽市民に感謝
 今回の名譽市民の決定を聞き、まず深沢幸雄さんのことを思い「市長在職中のごころから政治家以外の名譽市民を、との思いがありましたので政治家ではない深沢先生といっしょに名譽市民になることを心よりうれしく思っています」と話します。自分のことよりお客様のことを第一に考える小出さんの市原を思う気持ちと優しい人柄は年を重ね、さらに円熟味が加わったと感じました。

愛する孫とのひととき



【略歴】

- 昭和 23 年 旧制県立千葉中学校 (現千葉高校) を卒業
- 昭和 28 年 成蹊大学経済学部を卒業
- 昭和 34 年 市原商工会議所の副会頭に就任
- 昭和 63 年 市原商工会議所の会頭に就任
- 平成 3 年 市原市長に就任
- 平成 14 年 全国市長会永年勤続功労表彰
- 平成 20 年 鮎田日小観摩を受賞



今年の春に描いた外廚の海

歴代名譽市民

名譽市民条例は、昭和 57 年に制定されました。市ではこれまで 5 人にその称号を贈っています。

菅野唯作さん
 昭和 22 年に八幡町長に就任してから県議会議員や参議院議員などの要職に就き、主に国政で活躍。京葉工業地帯の基礎作りにも力を注ぎ、本市コンビナート工業の発展に貢献した。

鈴木貞一さん
 昭和 26 年八幡町長を経て、昭和 38 年新生『市原市』の初代市長に就任。昭和 42 年には南総町と加茂村を合併し、一併一市として市原市の基礎作りにも貢献した。

鮎岡伊平さん
 昭和 28 年衆議院議員に当選。その後、23 年にわたり国会議員として活躍した。常に郷土の発展を願い、市と国の（イ）役として産業の振興や教育・福祉の向上に尽くした。

相川久雄さん
 昭和 22 年五井町長を経て、昭和 26 年衆議院議員に当選。昭和 39 年には衆議院議員に就任した。五井・姉崎地区臨海部の埋め立て事業と企業誘致に尽力し、京葉工業地帯の礎を築きあげた。

井原信治さん
 市議会議員を経て昭和 50 年に市長に就任。4 期 16 年間務める中で、県内初の夜間急病診療体制の確立や都市基盤の整備など市民生活に密着した施策で市の発展に貢献した。